

千葉市農林業成長アクションプランの構成

- 第1章 計画策定の背景と趣旨等
- 第2章 千葉市の農林業の課題と対応方針
- 第3章 千葉市農林業成長アクションプランの全体像
- 第4章 千葉市農林業成長アクションプランの施策
- 第5章 重点事業一覧
- 第6章 計画の推進に向けて
- 第7章 むすびに ～千葉市農林業の将来に向けて～

参考資料

- 1 千葉市の農林業の現状
- 2 用語の説明

1 策定の趣旨

- ・平成23年に「千葉市農業基本計画」を策定して以降、これを推進するための「千葉市農業推進行動計画」を3年ごとに定めて、農林業の振興施策を展開
- ・この間、都市農業振興に向け法改正や制度改正が進んだほか、企業の農業参入やスマート農業技術も進展
- ・「千葉市農業基本計画」の策定から9年が経過する中、計画策定当時には想定していなかった新たな環境変化に対応し、現在明らかになっている本市農林業の喫緊の課題への対応や成長産業化を実現するために、計画期間を令和2年度から令和4年度までの3年間とする「千葉市農林業成長アクションプラン」を策定

2 アクションプランの位置付け

- ・現在の「千葉市農業基本計画」を踏まえつつ、新たな振興施策を示した計画として、第3次千葉市農業推進行動計画の後継計画として位置付け
- ・「千葉市農業基本計画」は、市の最上位計画である新たな基本計画が策定予定であることから、「千葉市農業基本計画」は令和4年度中に策定

計画名		平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
千葉市農業基本計画													
千葉市農業 推進行動計画	1次												
	2次												
	3次												
千葉市農林業成長 アクションプラン													

3 千葉市の農林業の課題・対応方針と3つの戦略

検討のポイント

- ・担い手への農地の集積の必要性
- ・大消費地に近接する強みの活用

対応方針

- ◆千葉市農業のポテンシャルを活かした競争力の強化

戦略 1

農業の成長産業化

検討のポイント

- ・小規模農家の多さと高齢化の進行
- ・農家数の減少と小規模農家の所得減少傾向

対応方針

- ◆市内農家の高齢化や小規模農家等の経営環境悪化への対応

戦略 2

個別農家の持続性確保と経営力強化

検討のポイント

- ・市民が地元農業・農畜産物を身近に感じる場や機会確保の必要性
- ・農村・森林環境保全の必要性

対応方針

- ◆農業・農村と森林の持つ多様な機能の維持と発揮

戦略 3

農業・農村と森林の持つ多面的機能の活用による魅力と交流の創出

4 (1) 計画体系

- ・本市の農業を取り巻く課題を踏まえ、3つの戦略を掲げたうえで、戦略毎に方向性を示し、農林業振興施策を推進

戦略1 農業の成長産業化

大消費地に出荷しやすい環境であることや一定規模の優良農地を有していること、相次ぐ法人の農業参入や意欲ある農業者の存在等、本市農業の高いポテンシャルを最大限生かすため、農業をより多くの雇用や付加価値を生み出す「成長産業」とすることを旨とする

方向性(1) 農業への企業参入の促進

方向性(2) スマート化による農業生産性の向上

方向性(3) 競争力ある担い手の育成

方向性(4) 高付加価値化と販売・PR力の強化

戦略2 個別農家の持続性確保と経営力強化

本市の農家は小規模販売農家が多数を占め、高齢化も進んでいるため、新たな担い手や多様な担い手を確保することを目指すとともに、個別の農家が抱える人材面・生産面・経営面等の多様な課題に対する支援を行い、本市の農業者の持続性確保と経営力強化を目指す

方向性(1) 多様な担い手の確保・育成

方向性(2) 農業者のニーズに合わせた個別支援の充実

戦略3 農業・農村と森林の持つ多面的機能の活用による魅力と交流の創出

市街地で農業が営まれるとともに、都市と隣接する豊かな農村・森林を有するという本市の特徴を踏まえ、農業・農村と森林が持つ多面的な機能の維持増進と積極的な活用を図り、市民の潤い創出や交流人口の増加など、様々な効果の発揮を目指す

方向性(1) 千葉市農業とふれ合う場・機会の充実

方向性(2) 豊かな農地・農村環境と森林環境の整備

方向性(3) 環境との調和と安全・安心な農業の推進

4 (2) 主な施策

戦略1 農業の成長産業化

方向性(1) 農業への企業参入の促進

<主な施策展開>

- ◆ 参入する企業がより円滑に農地を確保できるよう、農業委員会に設置された農地銀行の活用や、まとまった農地の売却・貸付がされた場合の協力金支給などにより、農地の流動化を促進
- ◆ 企業の農業参入に必要な優良農地を確保するため、耕作放棄地の発生防止と利用促進に努めるとともに、立地条件が特に良好な耕作放棄地について、新たな補助制度の創設を検討し、農業法人参入を促進
- ◆ 農業参入を検討する企業向けのワンストップでの相談窓口を設置・PRするとともに、県や関係機関と連携しながら、手続きについてのアドバイスや進捗フォローを行い、スムーズな参入を支援

<主な実施事業>

- ・農地の流動化の促進
- ・耕作放棄地の発生防止と利用促進
- ・農業参入へのワンストップ相談及び参入企業に対する施設・機械導入費等の助成

千葉市の充実した農業参入支援

参入検討から生産開始、事業拡充、販路開拓まで
きめ細かな支援対応!



フェーズ毎の農業参入支援の内容

戦略1 農業の成長産業化

方向性（２）スマート化による農業生産性の向上

<主な施策展開>

- ◆農政センターを各種スマート技術を実証できるフィールドとし、市内農業者がスマート技術に触れ、体験できる場としてリニューアル
- ◆農政センターがアグリテック企業と最新技術の実証を行うとともに、農政センター敷地内に企業と連携しやすい環境を整備することを検討
- ◆スマート農業技術の普及のための拠点として、農政センターに求められる新たな役割に対応するための計画を策定
- ◆市内の農畜産業の担い手へのスマート技術の導入を円滑に進めるための導入支援を強化
- ◆導入すると高コストになる大型機器は、シェアリングサービスの手法を検討

<主な実施事業>

- ・農政センターリニューアル
- ・農政センターの技術指導等の強化
- ・スマート農業の地域農業者への展開
- ・大型機器のシェアリングサービスの手法の検討



スマート農業技術を活用した
イチゴハウス（農政センター内）



スマートフォンで環境情報等を収集、
A I で分析し、最適な環境へ
ナビゲート

戦略2 個別農家の持続性確保と経営力強化 方向性（1）多様な担い手の確保・育成

<主な施策展開>

- ◆新規就農希望者が農地を確保できるよう、農地情報の提供等によって農地の確保を支援
- ◆企業のノウハウも活用した農業技術や経営方法等を学ぶための研修や、現場での技術指導により就農を支援
- ◆雇用就農希望者や既存農家の後継者など市内の農家を対象に、栽培技術の習得や農業機械の操作・メンテナンス等に関する研修を実施
- ◆地域の生産現場を専門の技術員が巡回し、アドバイスや相談対応、支援制度の情報提供等を行うとともに、行政・関係機関とのコミュニケーション強化を図る

<主な実施事業>

- ・農地の流動化の促進
- ・新規就農希望者や雇用就農希望者、既存農家の後継者向けの研修の実施
- ・農業機械操作メンテナンスに関する支援
- ・農政センターの技術指導等の強化



市内農業者向け研修



イチゴ現地検討会

戦略2 個別農家の持続性確保と経営力強化

方向性（2）農業者のニーズに合わせた個別支援の充実

<主な施策展開>

- ◆ 農政センターを拠点として専門の技術員が市内農家を巡回し、農家が日々直面している課題解決の支援や各種情報提供を実施。また、実証フィールドで得た知識や技術を活かし、生産現場への普及を推進
- ◆ 土壌診断による施肥設計の作成支援や千葉市での農業経営に適している農作物の種苗供給等を行うことで、農業者の生産性向上を図る
- ◆ 台風、洪水、地震、これらに伴う停電など、災害による被害の発生防止と生産者の経営安定化を図るため、農政センターへの貸出用発電機の設置や収入保険・農業施設共済への加入促進、ハウスの強靱化を推進

<主な実施事業>

- ・農政センターの技術指導等の強化
- ・土壌診断による施肥設計の作成支援
- ・種苗供給による安定生産支援
- ・災害時貸出用発電機の設置
- ・収入保険への加入促進



土壌診断



風速50m／秒の耐風強度を持つ
耐候性ハウス

戦略3 農業・農村と森林の持つ多面的機能の活用による魅力と交流の創出 方向性（1）千葉市農業とふれ合う場・機会の充実

<主な施策展開>

- ◆乳牛育成牧場跡地に農業や自然と触れ合う観光拠点を整備し、様々なコンテンツを提供することで交流人口増加を図る
- ◆国の「農福連携等推進ビジョン」に基づく支援事業の動向をとらえながら、本市における農福連携を検討
- ◆学校給食への市内産農産物の供給や生産者と連携した出張授業の実施等、
学習や体験の機会を通じ、児童生徒や消費者の本市農業への理解を深める

<主な実施事業>

- ・観光拠点の整備
- ・消費者への「農育」の実施



生産者による小学校へ出張授業風景

戦略3 農業・農村と森林の持つ多面的機能の活用による魅力と交流の創出 方向性（2）豊かな農地・農村環境と森林環境の整備

<主な施策展開>

- ◆有害鳥獣による農作物被害を軽減するため、地域住民で組織する協議会の捕獲活動や農地の適正管理活動等を支援するとともに、罠通知システム等のIoT技術活用を推進
- ◆森林を適正に管理するため、新たに創設された森林環境譲与税を活用し、災害時における道路・送電線等への倒木被害防止や放置竹林の駆除など、森林の安全対策を推進

<主な実施事業>

- ・地域住民を中心とした有害鳥獣対策への支援
- ・森林等の安全対策の実施



IoT罠通知システム



罠にかかるとメールでお知らせ

5 計画の推進に向けて

- ・千葉市農林業成長アクションプランの実効性を高めるため、千葉市農政推進協議会において、施策、事業の進捗状況や数値目標の達成状況を毎年点検、検証し、翌年以降の施策、事業の遂行に反映

※農政推進協議会

農業振興地域整備計画や農業経営改善計画の認定に関する事項、農業推進行動計画の進捗管理等について審議する附属機関であり、13人の委員で構成されている。

6 むすびに ～千葉市農林業の将来に向けて～

- ・千葉市の農業は、このまま施策を講じないと衰退の一途を辿るおそれ
- ・農業には、食料を供給するという重要な役割があるほか、農業そのものが自然環境を維持する機能を担っており、持続可能性の重要度が増す中で、農業を守るだけでなく、強化し、成長させていく必要
- ・中長期的な農業の基本的な方向性を示す新たな農業基本計画の策定を見据えながら、まずは、千葉市農林業成長アクションプランを着実に実施し、本市農業の喫緊の課題に対応するとともに、将来の「農業の成長産業化」の実現に向けた取組を推進